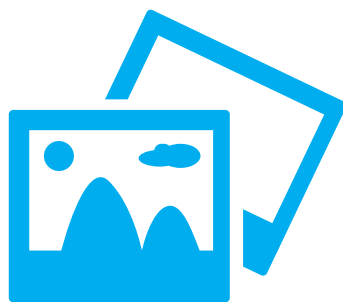


閲覧用

※冊子が必要な方は事務所窓口または町経営企画課行政経営グループまでご連絡ください。

平成
27
年度
決算



グラフと写真でみる まちの**決算**と **財政**状況

北海道栗山町

もくじ



グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移	2
○一般会計の決算概要	4
○国民健康保険特別会計の決算概要	6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要	7
○介護保険特別会計の決算概要	8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要	9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要	10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要	11
○水道事業会計の決算概要	12
○下水道事業会計の決算概要	13



写真でみる主な実施事業

- 栗山町第6次総合計画の主要施策より -	15
-----------------------	----



グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移	22
○町債残高の推移	23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況	24

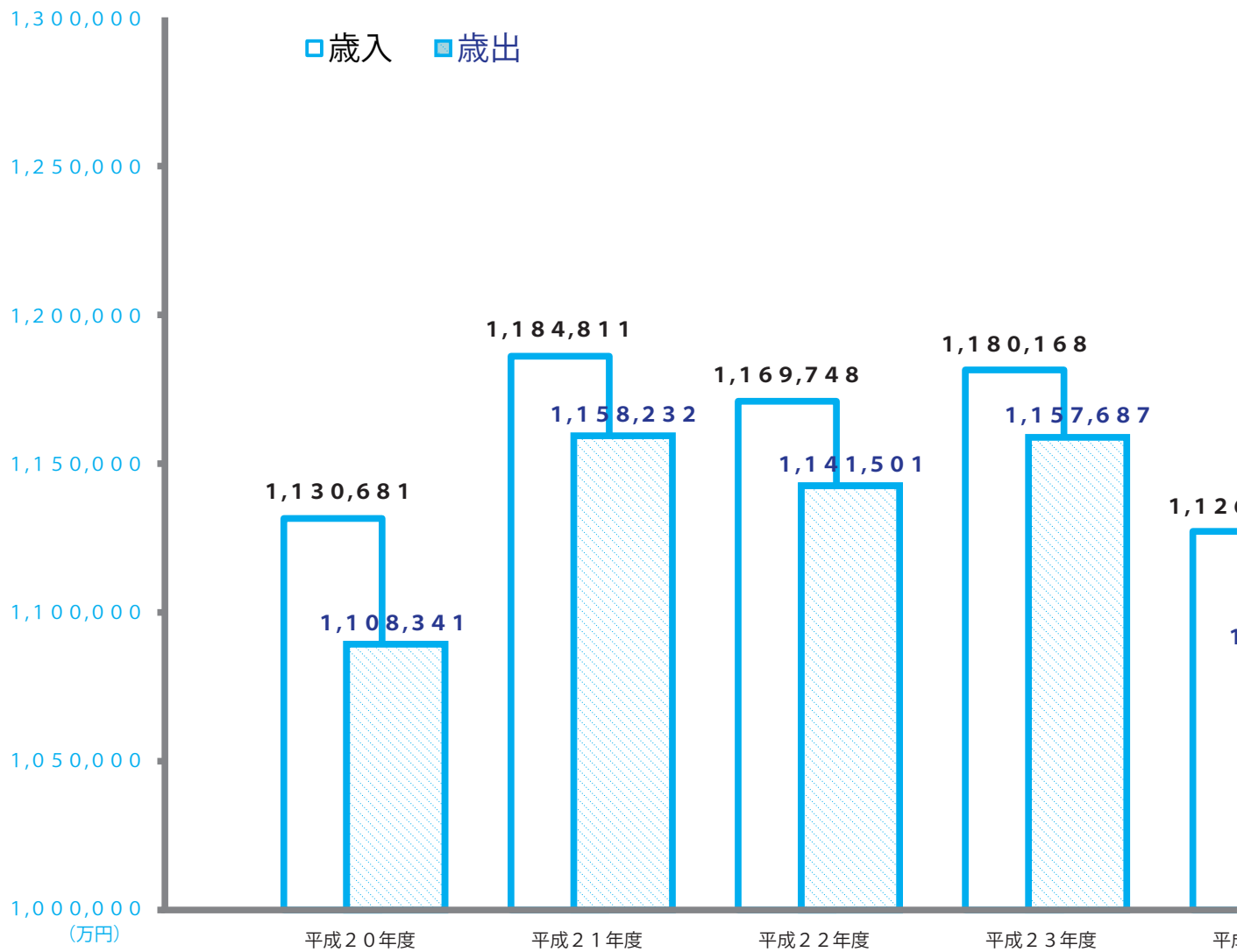
参考

南空知9市町の平成26年度普通会計決算概要	25
-----------------------	----



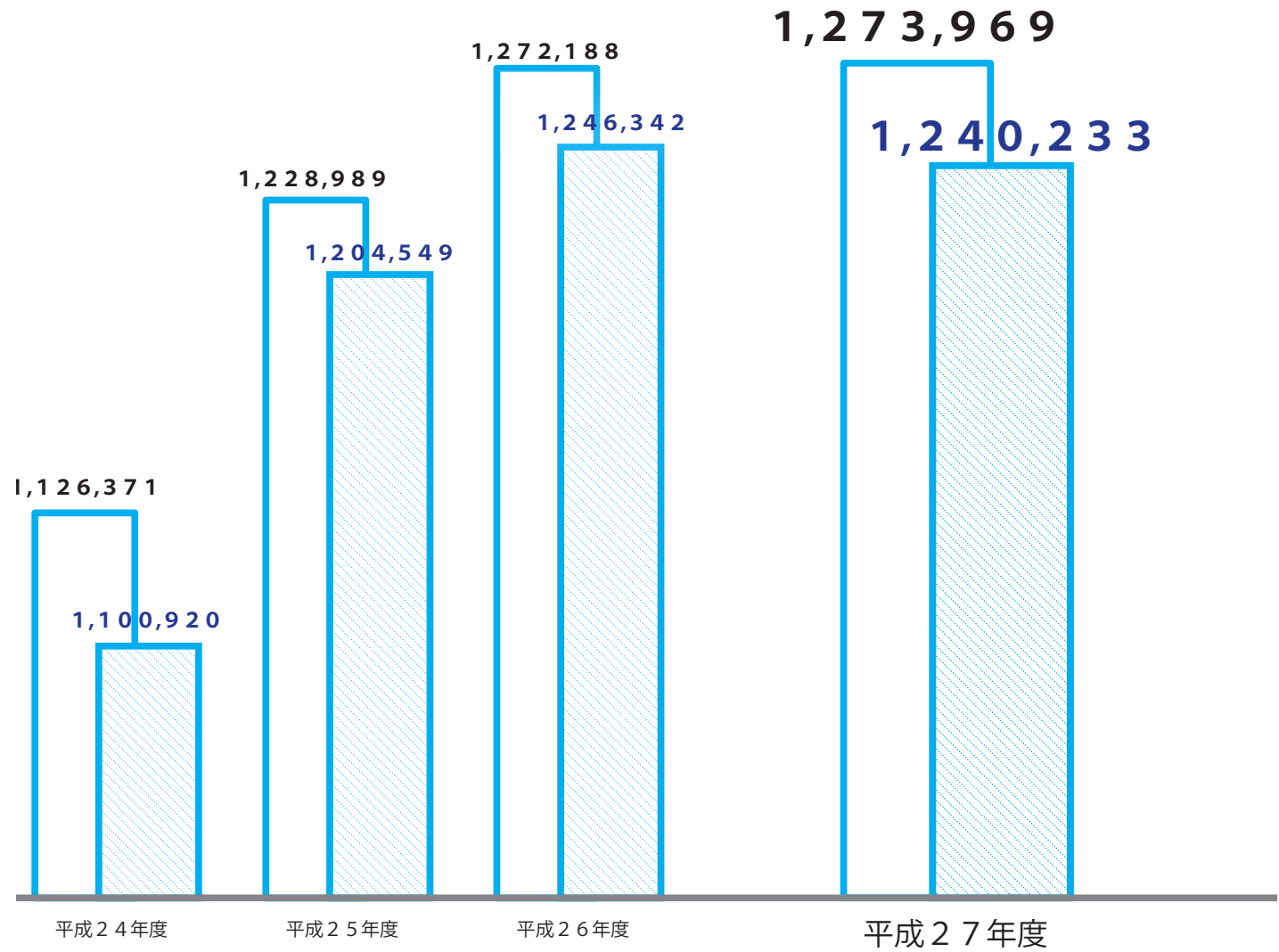
グラフでみる
決算概要

全会計の決算概要と推移



平成27年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福祉事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道企業会計を除いた会計の平成27年度決算総額は、歳入で127億3,969万9千円の減）となりました。

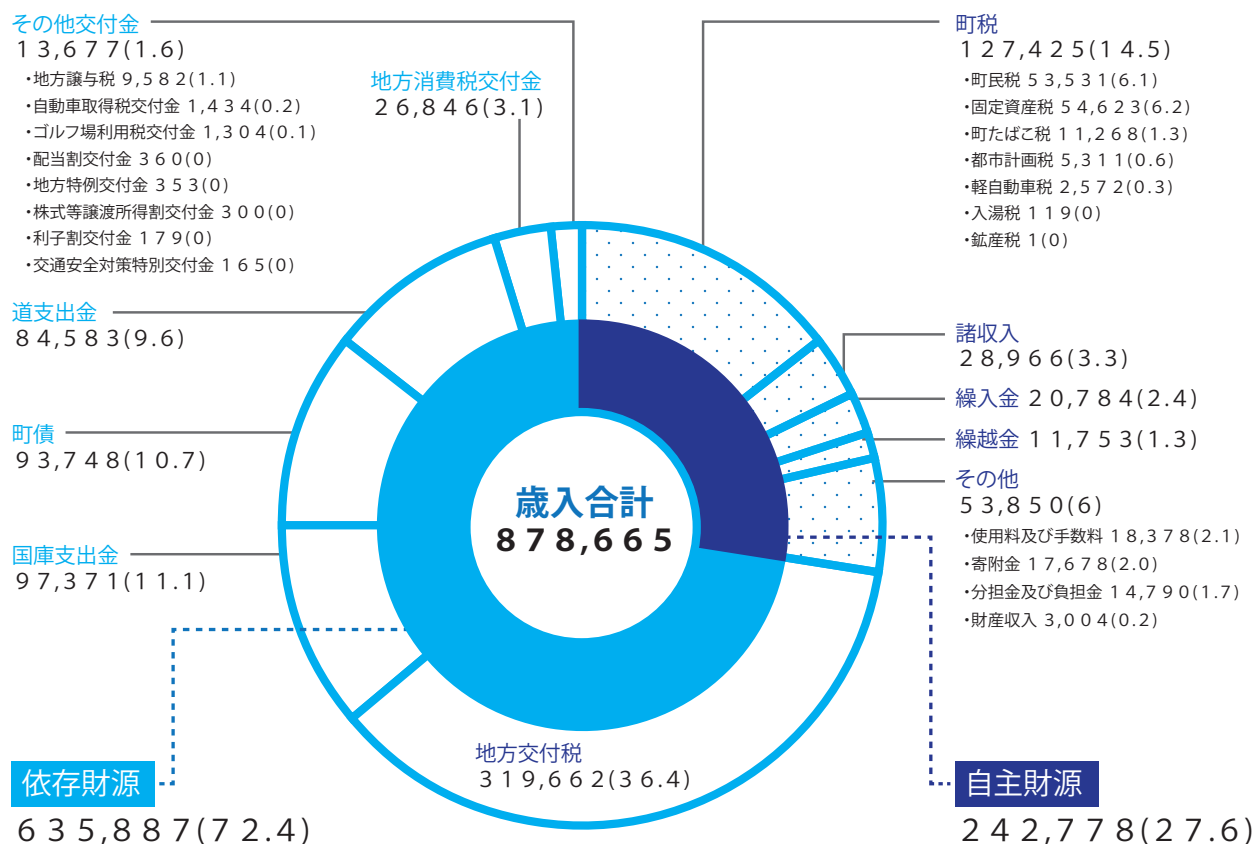
※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた
全会計の合計値です。



祉学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成
事業会計）の決算が9月議会定例会で認定されました。

万円（前年比1,781万円の減）。歳出で124億233万円（前年比6,10

一般会計の決算概要

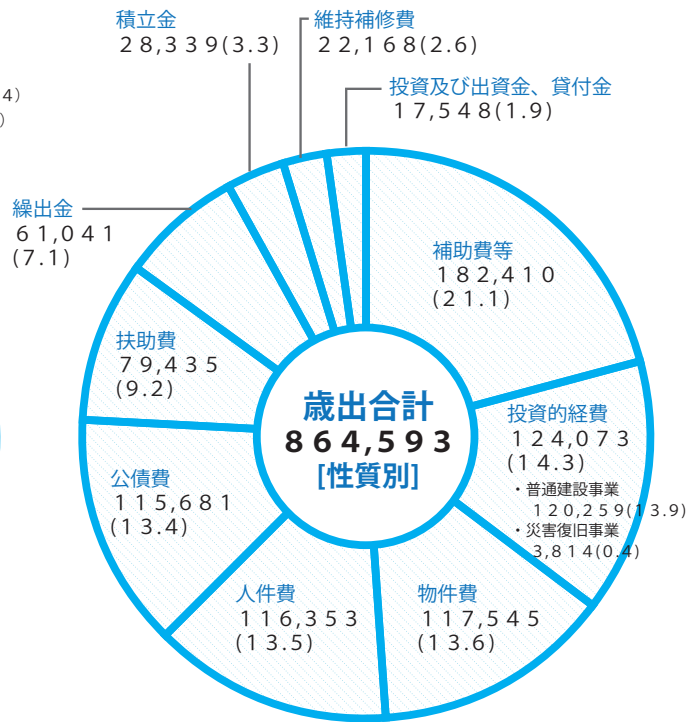
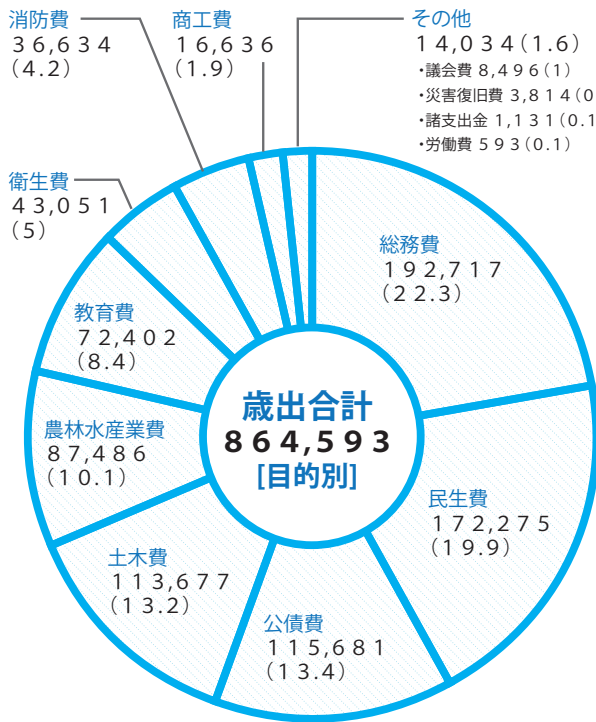


※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。

歳入総額は87億8,665万円。
前年比3億9,494万円の減。

一般会計とは行政運営の基本となる会計で、福祉や教育、消防など住民に広く行われる事業における歳入（収入）・歳出（支出）の会計です。歳入総額は87億8,665万4,059円。歳出総額は86億4,593万5,147円となり、差額の1億4,071万8,912円を次年度に繰り越しました。

なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源580万円が含まれているため、実質収支は1億3,491万8,912円になりました。



※単位は万円。
() 内は構成割合で単位は%。

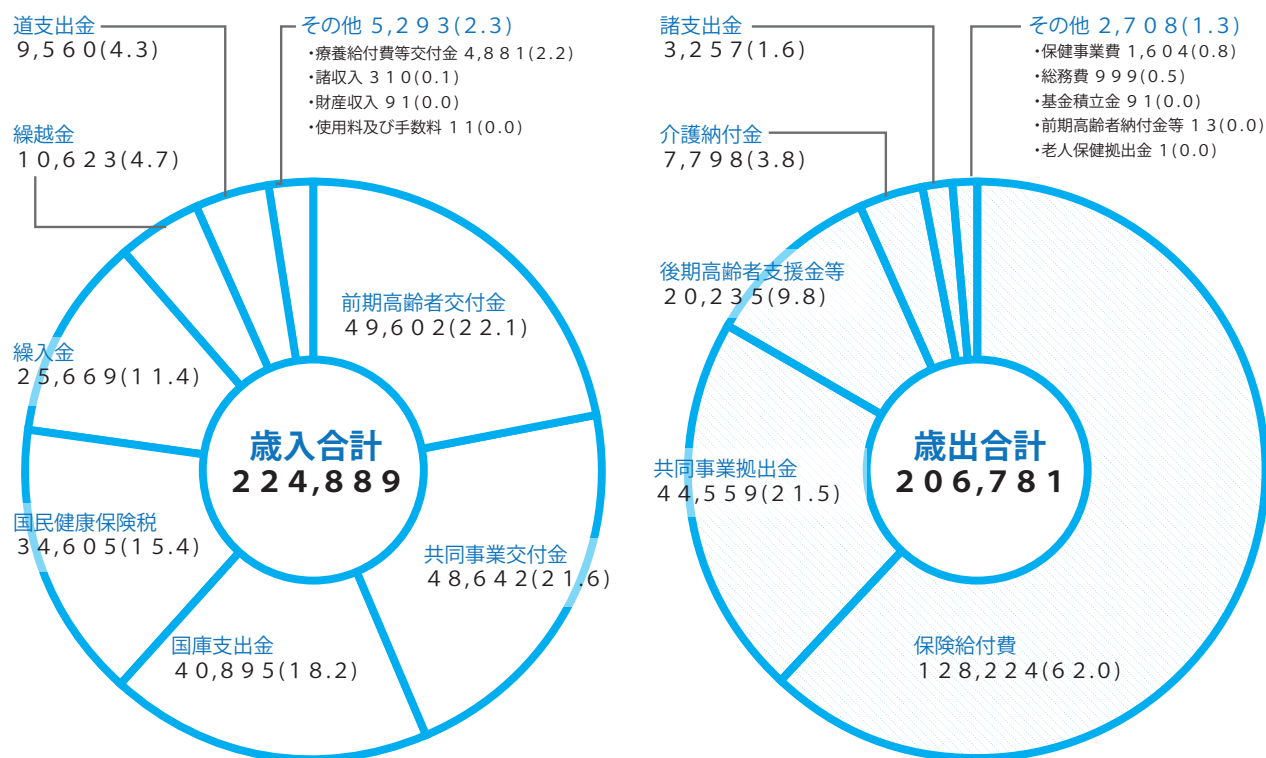
歳出総額は86億4,593万円。
前年比4億1,813万円の減。

歳入は、町債や国庫支出金の減により、前年度比で3億9,494万円の減となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が27.6%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が72.4%となりました。

歳出は、前年度比で4億1,813万円の減となりました。増減が大きい費目としては、民生費が約8億5,835万円の減、農林水産業費が約3億5,091万円の増となりました。

歳出全体の構成は、総務費が最も多く、次に民生費、公債費と続いています。

国民健康保険特別会計の決算概要



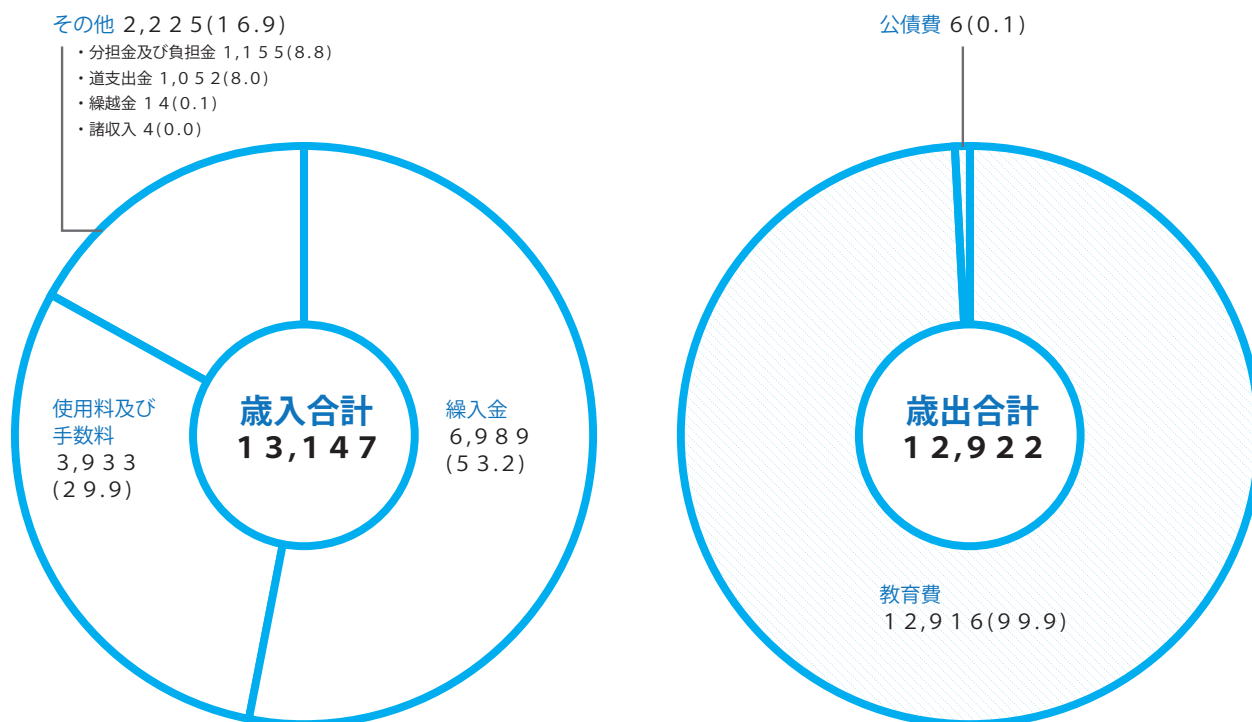
※単位は万円。
 () 内は構成割合で単位は%。

歳入 22億4,889万円。歳出 20億6,781万円。
 1億8,108万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

平成27年度末の国民健康保険に加入している世帯数は2,039世帯、被保険者数は3,555人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

北海道介護福祉学校特別会計の決算概要



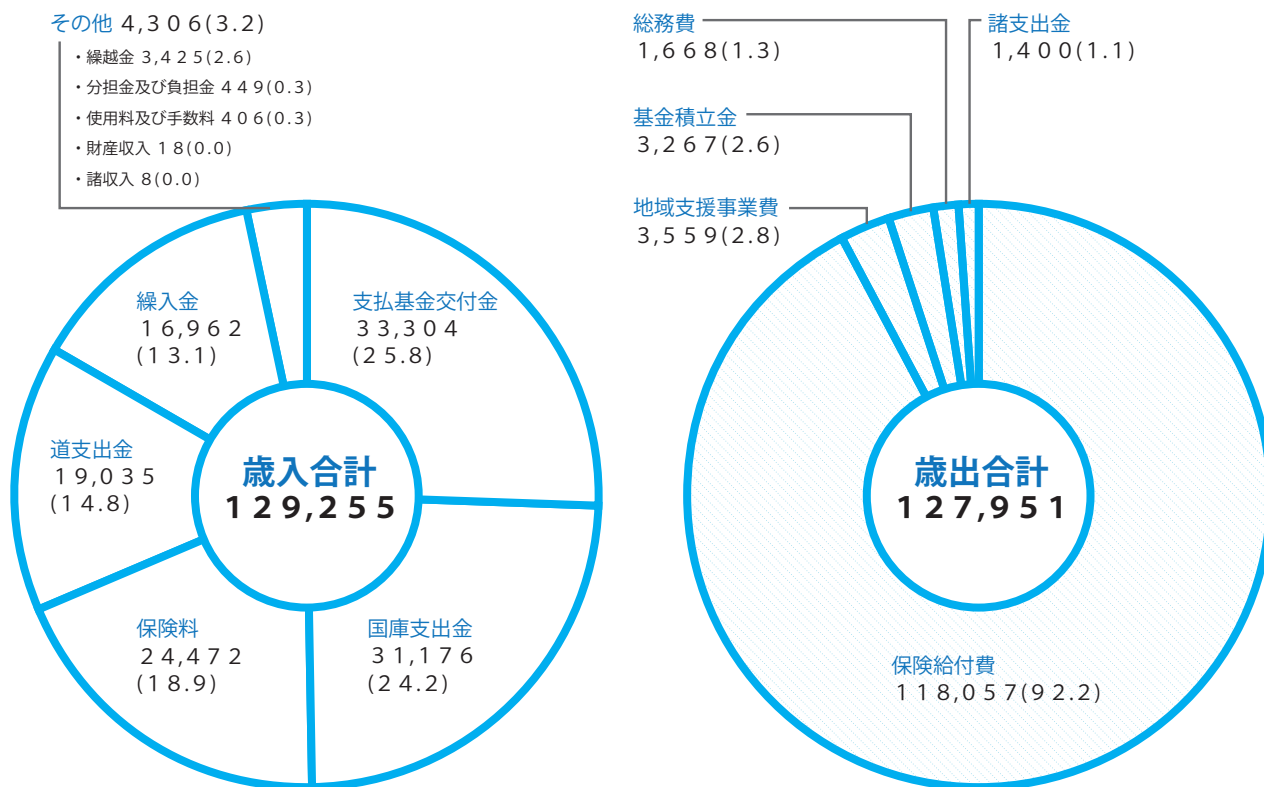
※単位は万円。
() 内は構成割合で単位は%。

歳入1億3,147万円。歳出1億2,922万円。
225万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

少子化などの影響により進学希望者が減少傾向にありますが、学生確保に積極的に取り組み、開校以来27年間就職率100%を継続しました。

介護保険特別会計の決算概要



※単位は万円。
() 内は構成割合で単位は%。

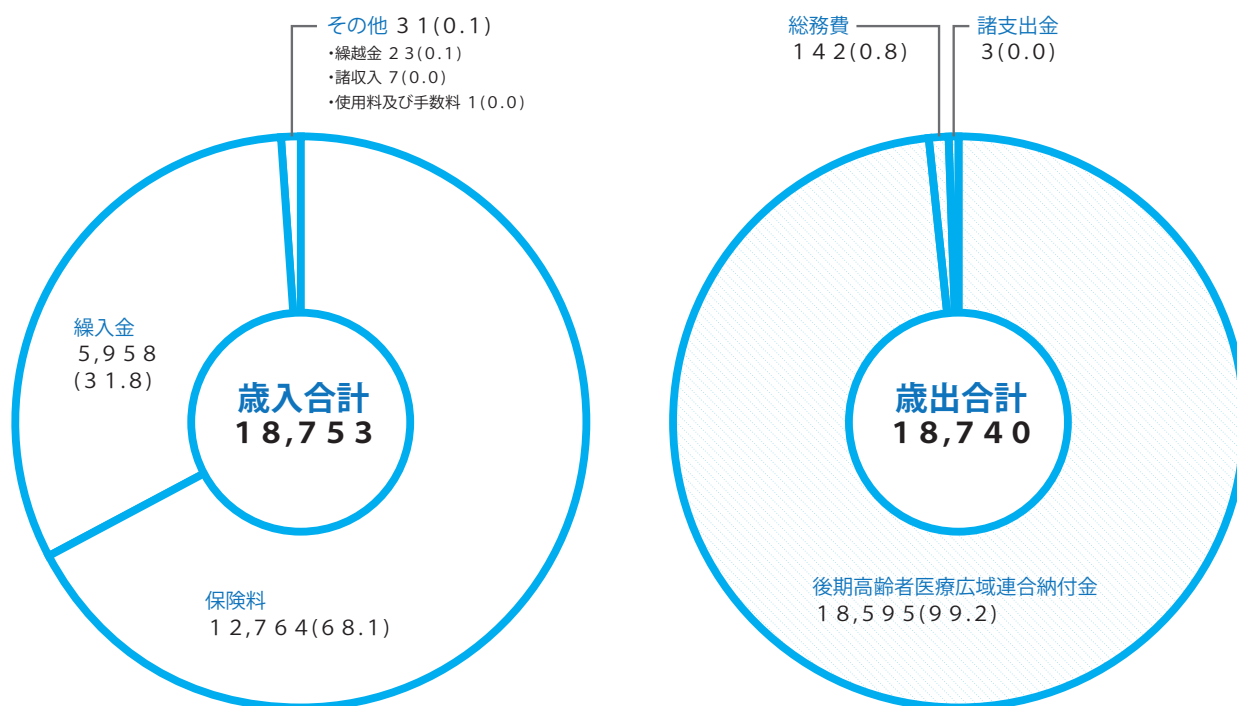
歳入12億9,255万円。歳出12億7,951万円。
1,304万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

後期高齢者医療特別会計の決算概要



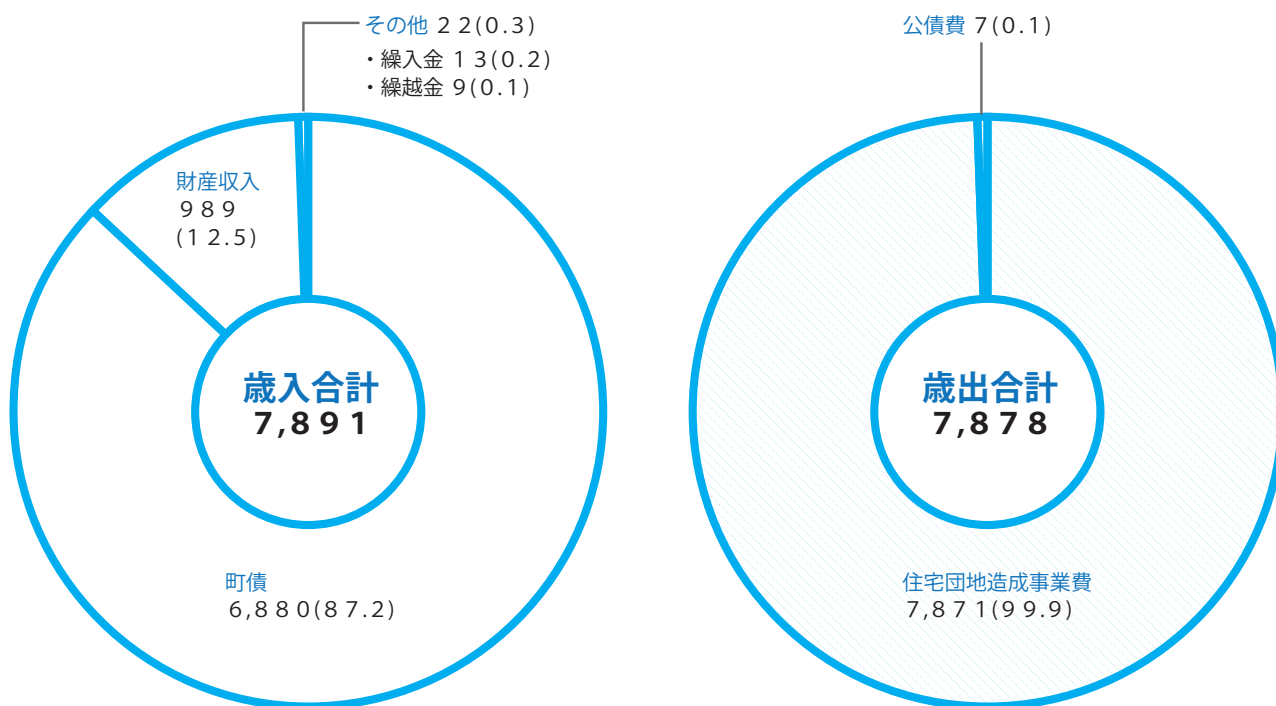
※単位は万円。
() 内は構成割合で単位は%。

歳入1億8,753万円。歳出1億8,740万円。
13万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

住宅団地造成事業特別会計の決算概要



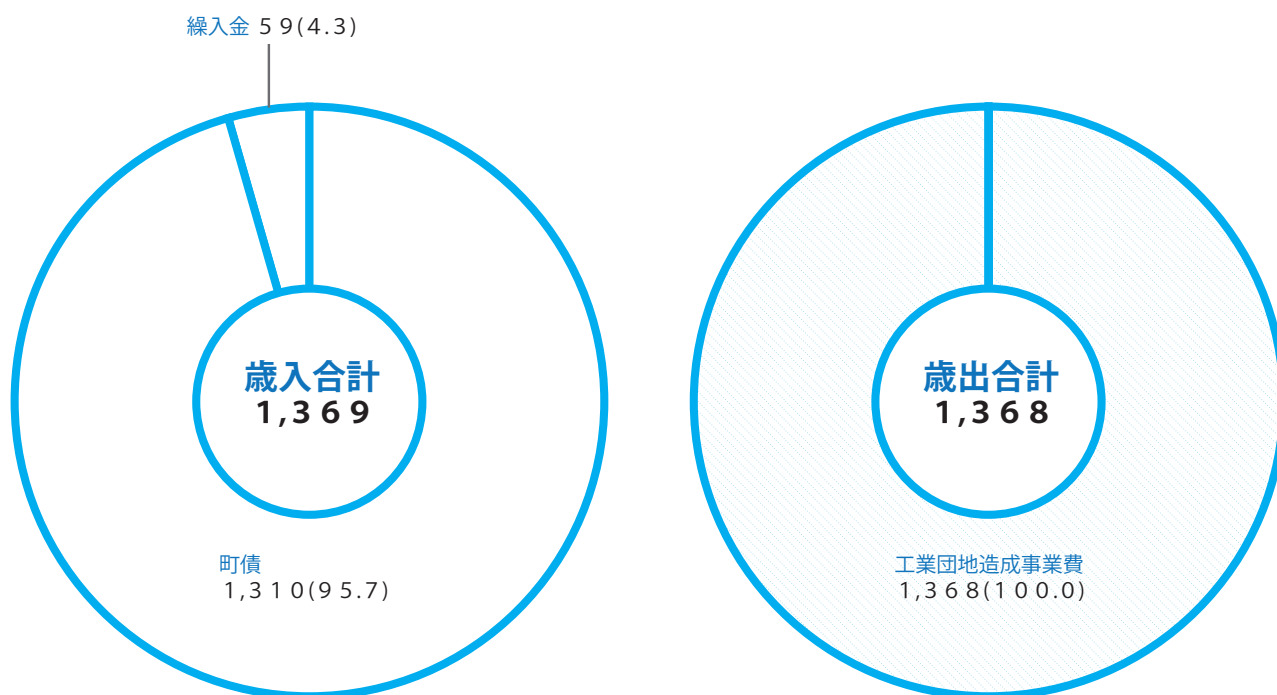
※単位は万円。
() 内は構成割合で単位は%。

歳入7,891万円。歳出7,878万円。
13万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、朝日4丁目住宅団地第4期造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

住宅団地の造成事業が完了し、平成27年度より分譲地の販売を開始しました。

工業団地造成事業特別会計の決算概要



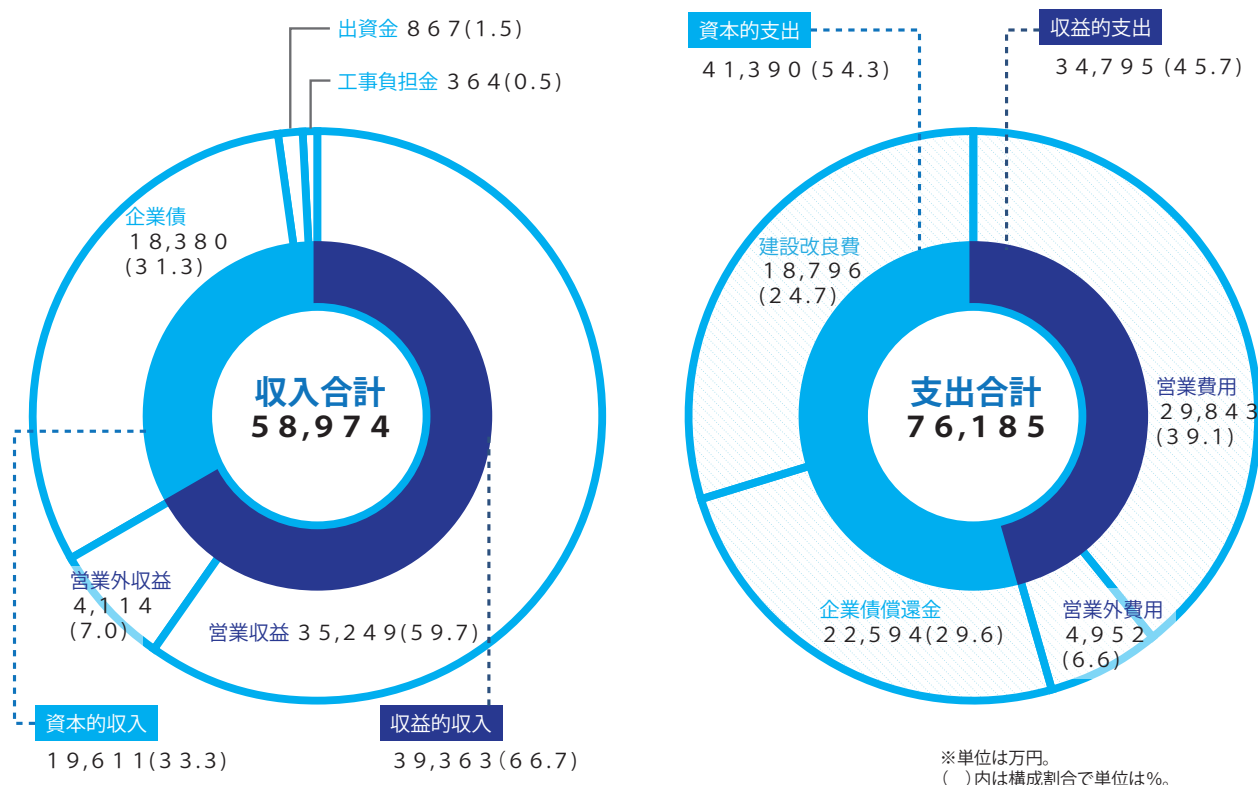
※単位は万円。
() 内は構成割合で単位は%。

歳入 1,369 万円。歳出 1,368 万円。
平成 27 年度に創設した特別会計です。

工業団地造成事業特別会計とは、第 4 期工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計で、平成 27 年度に新たに設置されました。

平成 27 年度では調査設計などの事業を実施しました。

水道事業会計の決算概要



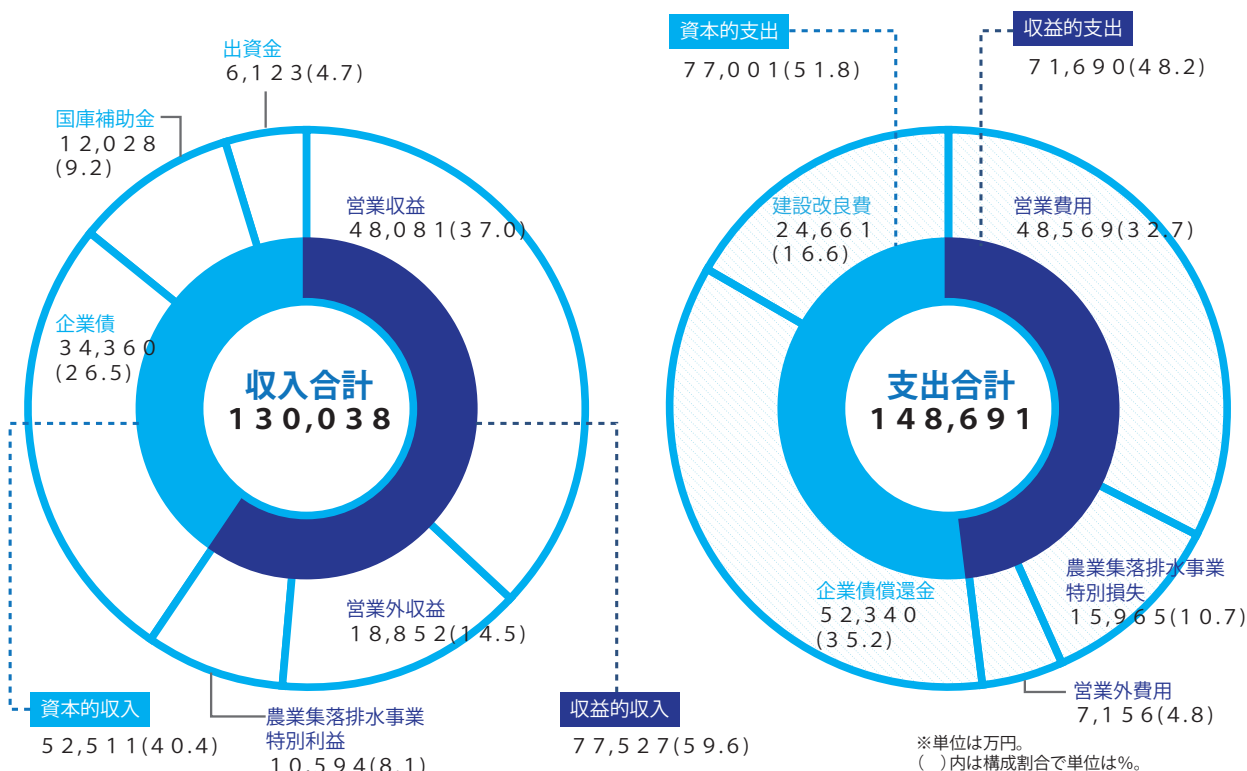
収入5億8,974万円。支出7億6,185万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくり家庭などに届けるための経費(収益的収支)では4,568万円の黒字となりましたが、浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費(資本的収支)では2億1,779万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金(損益勘定留保資金など)で補てんしました。

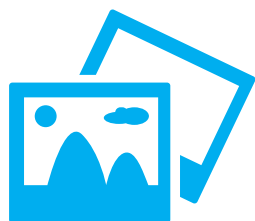
下水道事業会計の決算概要



収入13億38万円。支出14億8,691万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では5,837万円の黒字となりましたが、下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では2億4,490万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。



写真でみる

主な実施事業

栗山町第6次総合計画
の主要施策より

※栗山町第6次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画
事業
99

栗山町子育て支援センターを移設整備し、機能を充実します。



(子育て支援センター「スキップ」の開設)

決算額 **34,943** 千円

計画
事業
92

子ども医療費を助成します。



(高校3年生までの医療費無料化)

決算額 **29,608** 千円

計画
事業
65

ふるさと自然体験教育の推進と拠点施設の活用を図ります。



(夕張川の川くだりプログラム)

決算額 **15,720** 千円

計画
事業
129

栗山町への移住・定住を促進します。



(東京での移住相談会)

決算額 **12,876** 千円

計画
事業
37

コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の導入を進めます。

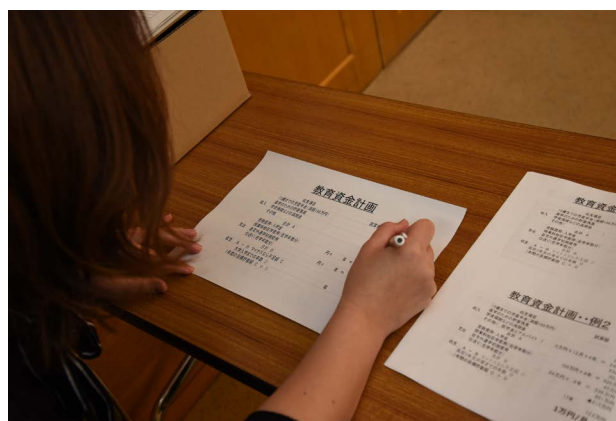


(角田小学校での土曜授業)

決算額 **687** 千円

計画
事業
91

子育て等に関する、総合的な情報提供と相談機能を充実します。



(若者・子育て世代向け町民講座)

決算額 **286** 千円

計画
事業
90

初期救急医療の確保と、二次救急病院への支援をします。



(栗山町の基幹病院「栗山赤十字病院」)

決算額 **68,542** 千円

計画
事業
106

地域の見守り・支え合い活動の充実を図ります。



(ケアラーサポーター事業)

決算額 **17,964** 千円

計画
事業
79

がん早期発見・治療を進め、がん死亡率の減少を目指します。



(定期的な集団検診の実施)

決算額 **10,358** 千円

計画
事業
81

より良い生活習慣への改善を推進します。



(食の健康づくり推進事業)

決算額 **1,845** 千円

計画
事業
86

町民・関係団体と協働した健康寿命延伸を目指します。



(「健康寿命延伸のまちづくり宣言」記念講演会)

決算額 **188** 千円

計画
事業
141

公営住宅の整備・改修を行います。



(建替えられた角田曙団地)

決算額 **380,155** 千円

計画
事業
142

住宅団地の造成を行います。



(朝日住宅団地第4期の造成)

決算額 **78,708** 千円

計画
事業
132

幹線町道湯地継立線の道路改良・舗装を実施します。



(舗装された町道湯地継立線)

決算額 **66,360** 千円

計画
事業
114

国営事業などによる基盤整備と、施設の維持管理を行います。



(農地の基盤整備)

決算額 **260,034** 千円

計画
事業
119

6次産業化の取り組みを支援します。



(6次産業化に取り組んだ農産物直売所)

決算額 **3,422** 千円

計画
事業
110

新規就農者の受け入れを進めます。



(新規就農者・研修生交流会の様子)

決算額 **44,256** 千円

計画
事業
122

賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。



(くりやまプレミアム商品券の販売)

決算額 **58,634** 千円

計画
事業
140

高齢社会の課題に対応できる交通システムを確立します。



(コミュニティバスの試験運行)

決算額 **4,725** 千円

計画
事業
149

継立地区農業集落排水施設を公共下水道に統合します。



(統合された継立地区農業集落排水施設)

決算額 **260,788** 千円

計画
事業
4

埋立てごみの減容を推進します。



(ごみの最終処分場)

決算額 **29,628** 千円

計画
事業
1

中間処理（リサイクル・堆肥化）を行い、再資源化を推進します。



(栗肥土の町民還元販売)

決算額 **91,005** 千円

計画
事業
17

消防通信指令装置を更新します。



(更新された消防通信指令装置)

決算額 **55,728** 千円

計画
事業
9

公共施設などの再生可能エネルギー導入を推進します。



(南部公民館に設置された太陽光パネル)

決算額 **21,045** 千円

計画
事業
120

農山村の魅力を活かした都市農村交流を推進します。



(修学旅行による農業体験受け入れ)

決算額 **5,768** 千円

計画
事業
64

人と自然との共生を推進します。



(地域おこし協力隊による自然環境教育活動)

決算額 **15,669** 千円

計画
事業
51

優秀な介護福祉士、高齢化社会を支える人材を創出します。



(北海道介護福祉学校の体験入学会)

決算額 **127,837** 千円

計画
事業
164

まちづくり協議会などの地域活動を支援します。



(角田地区まちづくり協議会での防犯講習会)

決算額 **2,111** 千円

計画
事業
182

予算・決算・財政状況などの情報を分かりやすく公表します。



(まちの予算・決算をまとめた冊子の配布)

決算額 **1,552** 千円

計画
事業
187

町長のまちづくり懇談会を行います。



(まちづくり懇談会)

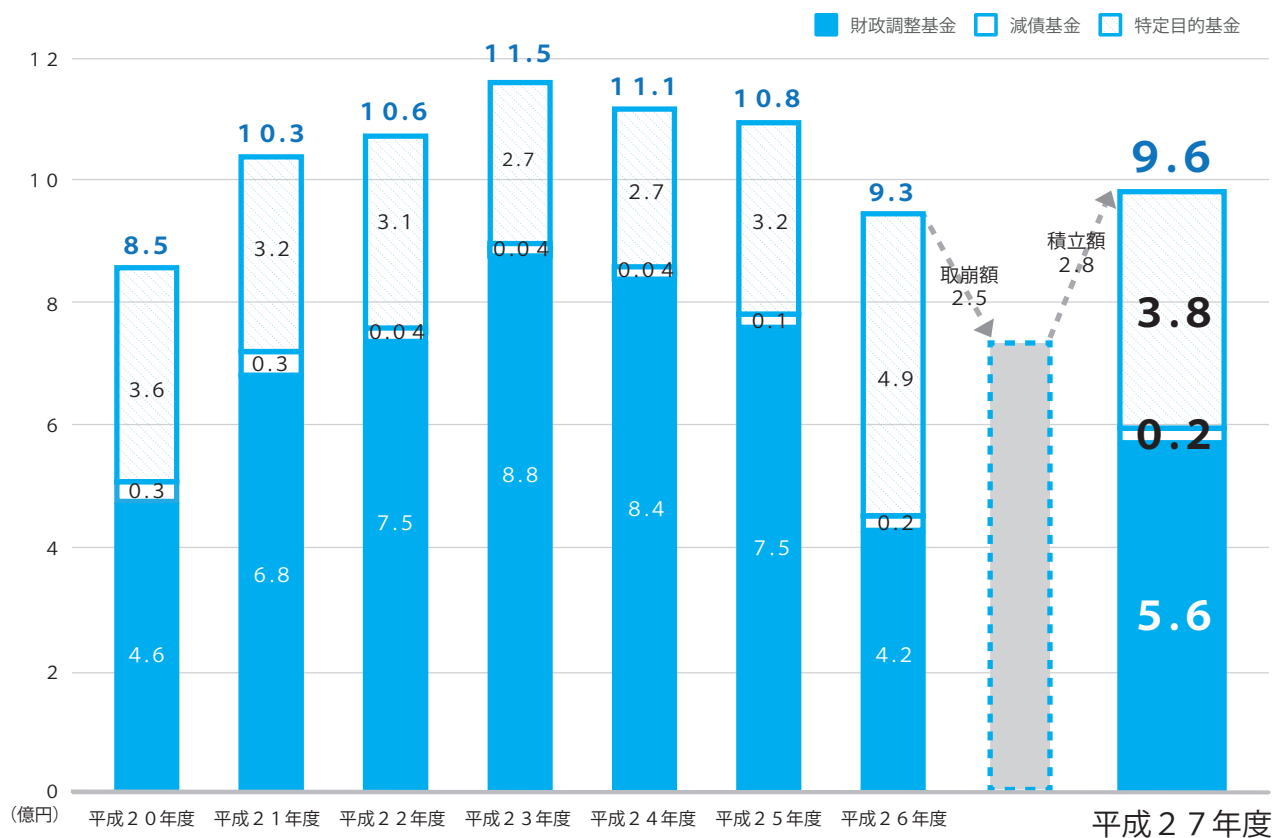
決算額 **17** 千円



グラフでみる

まちの財政状況

基金残高の推移

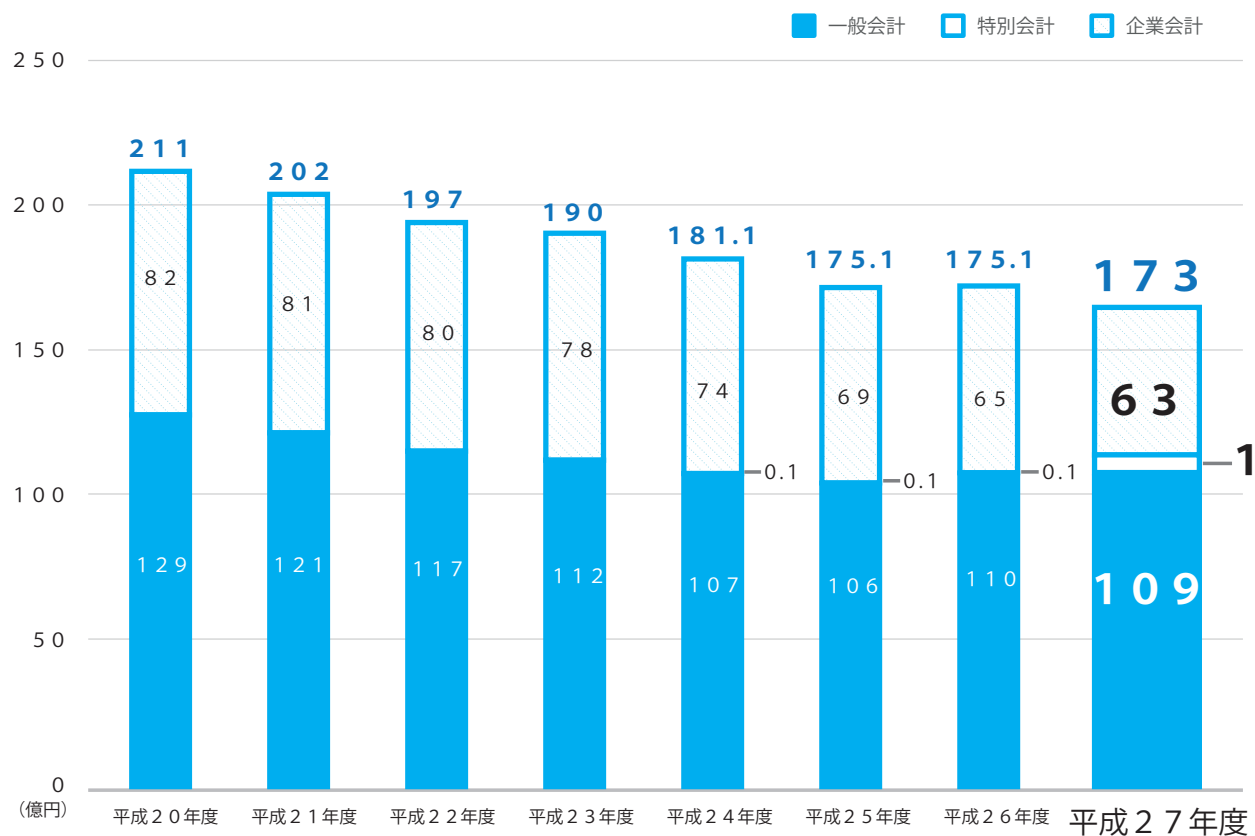


基金の年度末残額は9億6,852万円。
前年比3,583万円の増になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で9億6,852万円になり、前年度比で3,583万円の増となりました。

なお、平成27年度における取り崩し額は2億4,779万円で、積み立て額は2億8,362万円です。

町債残高の推移



町債の借入額は173億円。
前年比2億円の減になりました。

町債（町の借り入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないように、町総合計画や行財政改革推進計画等に基づき、計画的な借り入れを行っています。

町債の年度末残高は、全会計分で173億円となり、前年比で2億円の減となりました。

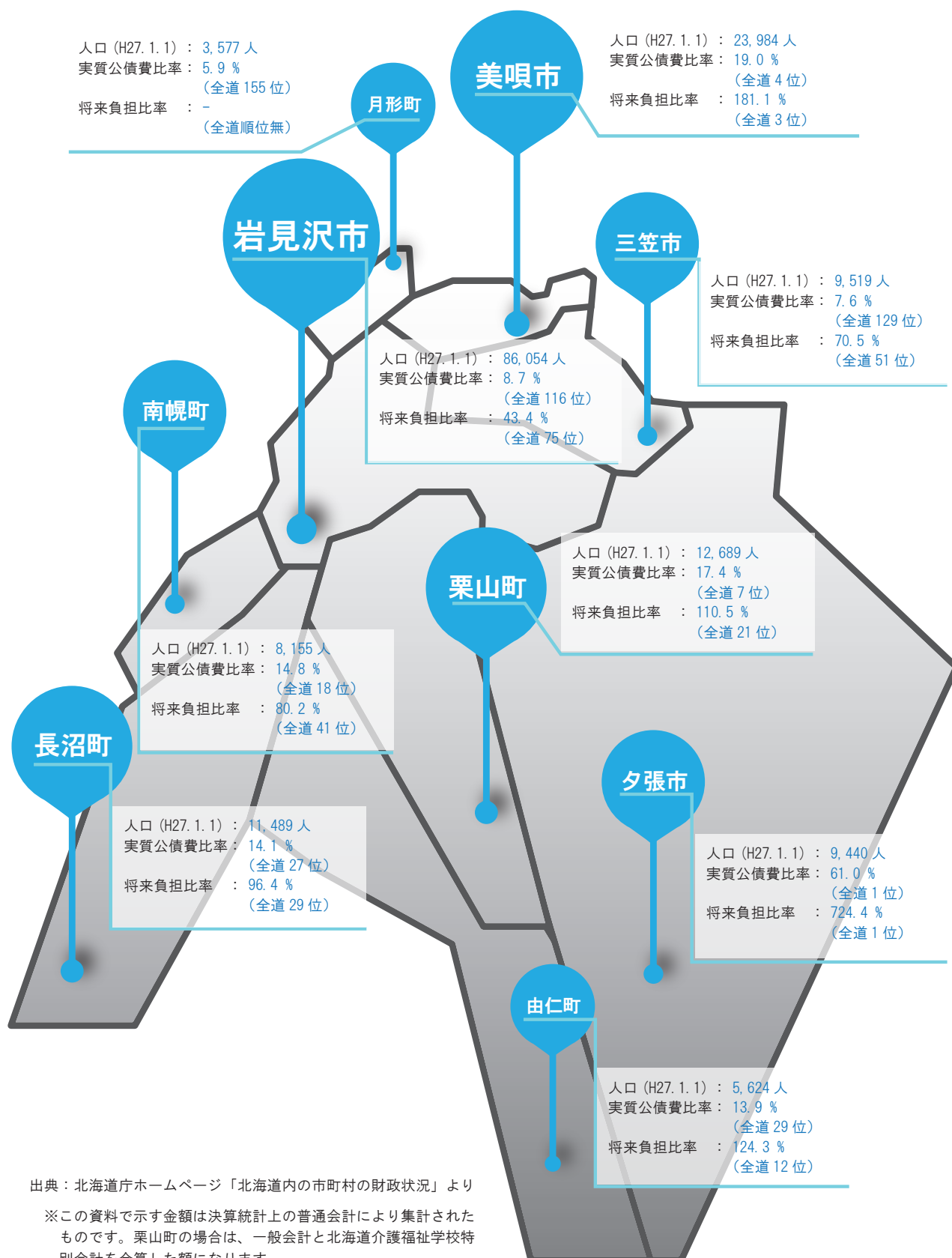
財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

指 標		指標の説明	比 率	全道の状況 (H26 決算)	基準値	
					早期健全化 基 準	財政再生 基 準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	15%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	20%	30%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	15.8%	9.2%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	86.8%	62.2%	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業)		資金不足額(赤字額)の事業規模に対する比率	該当無		20%	

まちの財政は「健全基準」にありますが、
依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

本町では、計画的かつ健全な財政運営に努めていますが、実質公債費比率や将来負担比率は依然として全道平均を上回っていることから、厳しい財政状況が続いています。



本冊子は、平成２７年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。
詳しい内容については、資料編「平成２７年度主要な施策の成果表」をご覧ください。
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発 行 / 栗山町

発行日 / 平成２８年１０月

編 集 / 経営企画課行政経営グループ

〒０６９１５１２ 北海道夕張郡栗山町松風３丁目２５２番地

ＴＥＬ：０１２３－７３－７５０３（直通） ＦＡＸ：０１２３－７２－３１７９（代表）

ＷＥＢ：<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/> ※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。